



学習発表会での校長挨拶

先日、4年生の教室でこの本と偶然出会いました。

著者は、聖路加国際病院の院長だった日野原重明さん。題名は『十歳のきみへー九十五歳のわたしから』です。この本が目に入ったとき、何か探し物が見つかったようでうれしくなりました。

それは、いつか日野原さんがテレビに出演されたときに話された次の言葉がとても印象深かったからです。

「心臓は生きるために必要だけど、そこに命があるわけじゃない。これから一番、大切なことを言います。命とは、人間が持っている時間のことです。時間の使い方は命の使い方なのです。」

生きているといろんなことが引っかかって心の底に眠っています。この本の背表紙を見た瞬間、何年も前に聞いていた「時間の使い方は命の使い方なのです」という言葉が再び目を覚ましました。

私はこのような出会いという引っかかりの積み重ねが、その人の生き方や夢を大きく左右するように思っています。

子供たちは、自然学校の西はりま天文台では、何万年も前の星の光を楽しく紹介してくださる天文学者と出会いました。修学旅行の法隆寺では世界最古の木造建築、島津製作所では世界初の分析装置の数々と出会いました。

そして何よりもここ高田小学校には21年の歴史を誇る「対話の輪を広げよう集会」があって、毎回貴重な出会いの場をPTAの方が作ってくださっています。他の小学校に先駆け作ったキャリアノート。ここに様々な出会いの記録を綴っています。

「将来の夢や目標を持っていますか。」の質問に6年生の80%がはいと答えるのは、このような伝統が根付いているからと感謝し、これからも大切にしていきたいと考えています。

夢を実現するための取組の1つが「ふくみねノート」です。自分がその日引っかかった疑問を「めあて」にして取り組むことで、引っかかりは夢に前進するエネルギーとなります。分からなかったことが少しでも分かり、できるようになることは、夢の実現にたった1mmかも知れませんが近づくこととなります。そんな引っかかりの記録を応援するのが「ほめほめコメントシール」です。ちょっと親に見せたくないときがあるかも知れませんが、違った立場の人のコメントがきっかけとなって、今までバラバラだった引っかかりが劇的に繋がることもあるのです。それが閃きです。

今から様々な学びとの出会いを全力で発表します。ご覧の皆様とのこの3時間が確かな命となりますように、お家に帰ってきた子供たちにぜひ「ほめほめコメント」をお願いします。それでは、発表会の始まりです。



学習発表会



オープニング
ちから一鼓



4年生
ごんぎつね



1年生
ぐらぐもの たび



5年生
自然学校 2019



2年生
「花さき山」に花は咲く



3年生
ちいちゃんのかげおくり



6年生
修学旅行



フィナーレ
「ふるさと」合唱



全員で
小さな恋のうた

温かいご声援をありがとうございました。

今年も、学校へのあたたかいご支援・ご協力をいただき有難うございました。
みなさま、どうぞ、良いお年をお迎えください。

12月・1月の予定

17日(火) 個別懇談 15:05 下校	24日(火) 冬季休業 (~1/6)
18日(水) 個別懇談	1/7日(火) 始業式 地区児童会 11:40 下校
20日(金) 給食終了	23日(木) マラソン大会
23日(月) 終業式 地区児童会 11:40 下校	26日(日) 再生資源回収③

